

岩手氏から竹中氏へ

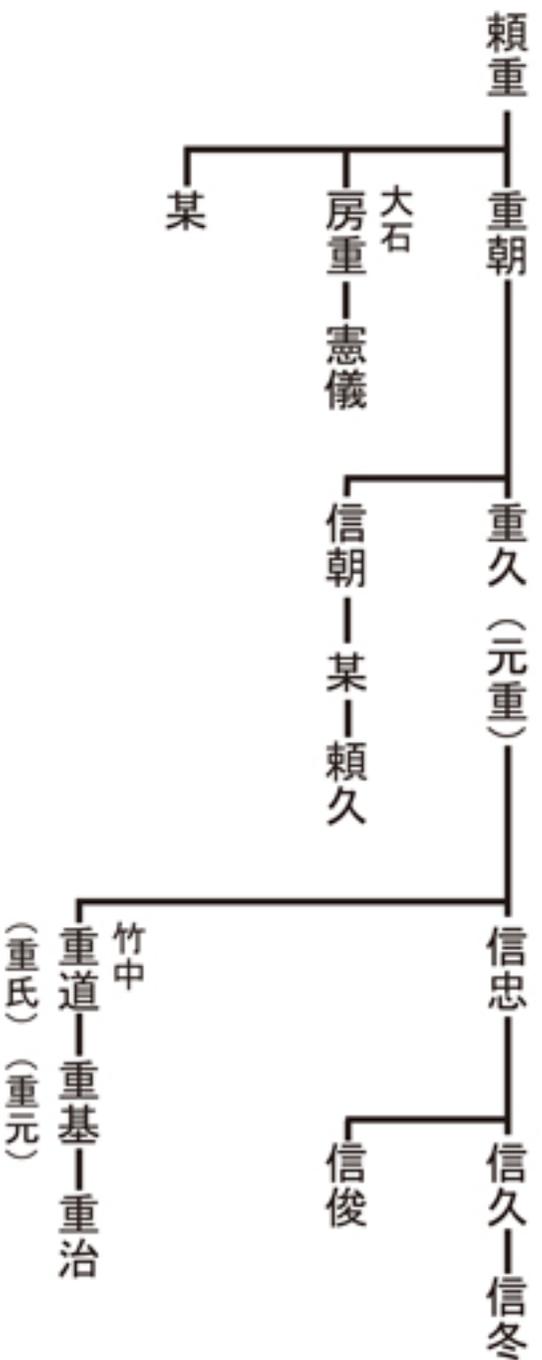
岩手氏は現在の垂井町岩手地区周辺を本拠とした武将で、『美濃国諸家系譜』によれば、美濃国守護土岐頼遠の養子、長山頼基の曾孫である頼重が、初めて岩手氏を名乗ったといい、応永20年（1413）に「美濃国不破郡岩手・府中・栗原・梅谷・荒尾・松尾・大石等領之」との記載が見える。

この『系譜』によると、岩手重久の子に竹中重道（重氏）がおり、その子が重基（重元）、その次に重治（半兵衛）と続く。

重道の兄に信忠がおり、その子・信久は弘治2年（1556）、斎藤道三とともに長良川の戦いで戦死し、その子・信冬の永禄元年（1558）に、竹中重元が岩手氏を攻め、竹中氏が岩手等一帯を領有することになる。



岩手氏系図



たけなか はんべえ しげはる 竹中半兵衛重治 1

竹中半兵衛重治は、天文13年（1544）大野郡大御堂城主竹中重元の子として生まれた。永禄元年（1558）父重元とともに不破郡岩手城主岩手弾正を攻めてこれを追放し、岩手に移った。重元は菩提山に砦を築き、山麓の西福村に屋敷を構え、岩手、福田、長松、栗原一帯6千貫を治める領主となった。

半兵衛は幼少時より学問を好み、兵法の研究に励んだといい、成人して本巢郡北方城主安藤守就の娘を妻とした。永禄5年（1562）父重元が亡くなると家督を継ぎ、斎藤龍興に仕え、稲葉山城（現岐阜城）下に居館を置いた。

永禄7年（1564）2月、半兵衛は稲葉山城に人質となっていた弟・久作の病氣見舞いと称して家臣の者十数名とともに入城し、突如、斎藤龍興の寵臣斎藤飛騨守を斬り、城外の安藤守就らの軍勢を導き入れて城を奪った。これを伝え聞いた織田信長は、美濃半国を条件に城を渡すよう申し入れたが半兵衛は応じず、半年後には城を龍興に返した。この行動は、半兵衛が斎藤飛騨守に侮辱されたためとも、斎藤家家臣日根野備中守と争った舅の安藤守就を助けるためとも、龍興の愚行をいましめるためともいわれているが、近年は、半兵衛が斎藤氏に対して起こしたクーデターであるという見方もある。



金華山（旧名 稲葉山）遠景



菩提山から金華山方面の眺望



菩提山から見た金華山

たけなか はんべえ しげはる 竹中半兵衛重治 2

主君に稲葉山城を返還した半兵衛は、北近江の浅井長政の食客となり、その後、再び美濃へ帰り、栗原山で隠遁生活を送ったとされる。木下藤吉郎（後の豊臣秀吉）が三顧の礼をつくして、半兵衛を家臣に迎えたという伝説は、このころのことである。

永禄10年（1567）斎藤氏にかわり、織田信長が美濃の領主となった。いつのことが定かでないが、半兵衛も信長に仕えることになり、秀吉の与力に付けられた。元龜元年（1570）4月、信長が越前の朝倉氏を攻撃すると、同盟を結んでいた北近江の浅井長政が信長を裏切った。半兵衛は浅井氏家臣、鎌刃城主堀次郎、家臣樋口二郎兵衛を調略し、信長の近江進攻に功をあげた。6月には姉川合戦があり、半兵衛の弟久作が、浅井家の豪傑・遠藤喜右衛門を討ち取る手柄を立てた。

元龜3年（1572）浅井氏が滅びると、秀吉は長浜城主となり、半兵衛もこれに従った。



姉川古戦場跡
(滋賀県長浜市)



遠藤喜右衛門の墓
(滋賀県長浜市)



「豊鏡」にある長浜真砂の和歌
半兵衛の作ともい

竹中半兵衛重治 3

天正5年（1577）信長による中国攻めが始まると、秀吉は主将となつて播磨（兵庫県）に向かった。秀吉の播磨平定には、姫路城主黒田官兵衛が活躍した。半兵衛は官兵衛と協力して西播磨に位置する福原城、上月城を攻めて軍功をあげ、翌年には備前八幡城主明石景親を降伏させたことにより、信長から銀子百両を与えられている。しかし、三木城主別所長治や摂津（大阪府）有岡城主荒木村重が信長を裏切ると、播磨国内は騒然となり、官兵衛は村重を説得するため有岡城を訪れたが、かえつて幽閉されてしまった。信長は、官兵衛が帰つてこないことを知ると、人質であつた官兵衛の嫡子松寿丸を殺すよう秀吉に命じた。半兵衛はこのことを知ると、密かに松寿丸を竹中氏の領地である岩手に連れ帰り、家臣の不破矢足の屋敷に匿つた。

そのころ、秀吉の軍勢は三木城を攻めていたが、半兵衛は体の不調を覚え、一時京都で休養していたが、「武士は戦場で死ぬものである」として再び三木城攻めの陣中に戻り、天正7年（1579）6月13日に逝くことになった。

一方、有岡城に幽閉されていた官兵衛は、天正7年10月に城が落ちると助け出され、松寿丸も許されて父の元に戻された。松寿丸が匿われた不破矢足の屋敷跡には、現在五明稻荷社があり、松寿丸が植えたと言われるイチヨウの木が残っている。

このことにより竹中家と黒田家の交誼は末代まで続く。



五明稻荷イチヨウの木
現在、東側の木は枯れてしまったため
伐採された